

第25回 稲葉旗争奪少年野球大会運営要領及び指示事項

1 試合の決定・連絡

1. その日の試合を執行するか否かは、当日午前6時30分に実行委員会が、天候及びグラウンドの状況を判断し決定する。なお、各チームには連絡しないので、各チームの監督または代表者は、下記へ問い合わせること。
また、雨天等で一度中止と決定した後は、天候が回復しても、その日の試合は行わない。
(2) 問い合わせ先は、下記のとおり。
・事務局（川村） 090-2571-0998
（加藤） 080-4545-0930

2 競技規則等

1. 競技規則等は、2023年公認野球規則（以下、規則という）及び全日本軟式野球連盟競技者必携2023の学童野球に関する規定並びに大会指示事項を適用する。
2. 大会使用球は、マルエスJ号とする。（主催者で準備）
3. グラウンドルールは、会場毎で定めたルールとする。

3 出場資格

- (1) 小学生の選手20名以内で編成されたチームとする。
- (2) 選手の二重登録は禁止する。
- (3) 監督は成人者とする。

4 試合方法

1. 試合方法は、トーナメント方式とする。
2. 試合は6回戦とする。
 - ① 6回未満の回であっても、試合開始後1時間30分を経過して、新しいイニングに入らないものとする。
3. 前項の規定により試合が終了して同点の場合は、次に定める方法により勝敗を決定する。
 - ① 決勝戦以外は、その時点に出ている9名の選手による抽選で決定する。
 - ② 決勝戦は、次に定める「特別延長戦」により勝敗を決する。
 - ア 前回の最終打者を一塁走者とし、二塁・三塁の走者は、順次前の打者として無死満塁、継続打順で攻撃を行い1イニング毎の得点によって勝敗を決する。
ただし、特別延長戦は、2イニングまでとし、なお勝敗が決しない場合は、その時点に出ている9名の選手による抽選で決定する。
4. 決勝戦以外は、4回以降7点差が生じた場合、コールドゲームとする。
5. 降雨等によるコールドゲームは、4回の裏の攻撃完了をもって正式試合とする。ただし、後攻チームがリードしている場合は、4回の表が終了した時点若しくは4回の裏の攻撃中に打ち切りとなっても正式試合とする。

なお、降雨等による試合の可否の判断は、当該試合の担当審判員と主催者が協

議して決定する。

5 投球数の制限

1. 同一投手の投球数は、1日70球以内とする。
2. ボークの投球は、球数に入れるものとする。
3. 牽制球は、球数に入れないものとする。
4. 球数のカウントは、対戦チームの相手方が数えるものとする。

6 試合上の注意事項等

1. 各チームは、試合開始予定時刻の30分前までに試合会場に到着して、大会役員にメンバー表を2部提出し、役員の指示に従うこと。
 - (2) 試合開始時刻に到着していないチームは、原則として棄権とみなす。
 - (3) ダッグアウトは、組み合わせ番号の若番チームを一塁側とする。
 - (4) シートノックは、行わない。
 - (5) 金属バット、ヘルメット、マスク、プロテクター及びレガースは、公認マーク入りのものを使用するものとする。なお、金属スパイクの使用は禁止する。
 - (6) 捕手は、捕手用ヘルメット、マスク、プロテクター、レガース及びファウルカップを必ず着用すること。また、練習投球を受ける捕手（ブルペンの捕手含む）

もマスク及びヘルメットを着用すること（規則3.08(d)参照）

- (7) 打者及び走者は、必ずヘルメットを着用すること。
- (8) ベースコーチは、選手が行い必ずヘルメットを着用すること。
- (9) 出場チームは、必ずスポーツ保険に加入していること。

なお、試合中の怪我の応急処置はするが、その後の処置は当該チームの責任において行うこと。
- (10) 抗議権は、監督のみが有するものとする。
- (11) 投手の牽制球がボールデッドとなる箇所に入った場合は、すべて一個の塁を与えるものとする。

7 ユニフォーム及び背番号

1. 選手のユニフォームは、規則3.03の規定を適用する。
2. 背番号は、監督30番、主将10番、コーチは原則として28番、29番及び選手は0～27番とする。

8 審判員

審判員は、北名古屋市軟式野球連盟東支部の審判部に依頼する。

9 禁止事項

- (1) 試合中、相手チーム及び審判員に対して下品な言葉等で野次ってはならない。
- (2) ベンチには、監督、コーチ、選手及びスコアラー以外は入ってはならない。

10 その他

- (1) 試合が5回を終了するか試合開始後1時間15分を経過したら、グラウンド内のブルペンで次の試合の投手の投球練習を認めるものとする。

- (2) 駐車場が狭いので、できる限り乗り合わせてくること。
- (3) 開会式のチーム名のプラカードは、各チームで用意すること。また、団旗等を
持参するのは自由とする。
- (4) 試合中における器物破損は主催者が責任を負うが、駐車場等その他の事故は、すべて当事者の責任とする。
- (5) グラウンド作りは、これから試合を行う両チームで行うこと。
- (6) 試合終了後のグラウンド整備は、試合を終えた両チームで行うこと。
- (7) 大会会場内は、禁煙とする。